

特集

ICTと道路

「ICTで道路を、つくる」、「維持する」、「改善する」

建設現場や除雪などの扱い手不足が深刻化する中で、進展が目覚ましい情報通信技術(ICT)を活用することにより、建設分野における生産性向上への期待が高まっている。

また、北海道においては全国上位の高い交通事故死者数が課題であり、さらに人口減少・高齢化が急速に進む中、生産空間を維持するため物流や移動の確保が必要となっている。自動車メーカーからは、高度な安全運転支援を行う車両が市販されており、これらの課題解決に向けて現実のものになりつつある自動運転技術が注目されている。

本特集では、「ICTと道路」をテーマとして、はじめに北海道における自動運転の取り組みや自らの研究について、北海道大学大学院教授の萩原亨氏より基調レポートとしてご寄稿いただいた。

次に、道路建設現場における生産性向上を図るi-Constructionの取り組み状況について北海道開発局からご報告いただいた。そして、道路交通の安全性が大きく改善されると考えられる自動運転に関し、技術開発拠点としての北海道のポテンシャルについて、日本政策投資銀行からご提言いただいた。さらに、北海道の道路を維持する上で欠かせない除雪作業の省力化に向けた取り組みについて、北海道開発局にお話を伺った。

ICTがもたらす道路交通のイノベーション(技術革新)を考えるきっかけとなれば幸いである。



北海道における自動運転の取り組み

北海道大学大学院工学研究院 教授 萩原 亨 氏



道路建設現場のICTの全面的な活用 i-Constructionが目指すもの

国土交通省 北海道開発局 事業振興部 工事管理課長(前 技術管理課長) 村上 昌仁 氏

レポート2

自動運転技術開発の動向 ～北海道のポテンシャル～

株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 次長 西山 健介 氏

株式会社 日本政策投資銀行 北海道支店 副調査役 山川 将人 氏

i-Snowの挑戦

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 道路防災対策官 林 憲裕 氏

国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 機械施工管理官 木下 豪 氏

